

特定非営利活動法人
名古屋整形外科地域医療連携支援センター

平成 26 年度
寄付金募集趣意書

Ver. 2014. 11. 30

ご寄付お願いの趣意

平成 11 年から八事整形会(整形医師の研修会)、平成 15 年から八事整形医療連携会(大腿骨頸部骨折地域連携パスをはじめ整形関連医療スタッフの研修会)、その後も八事ロコモ健康教室(市民公開講座)、八事ほねを守る会(市民公開講座)、名古屋日赤整形外科研究会(医師の研修会)、ホームページ作製(医療者用、一般用)、スタッフ向けセミナーなどを行ってきました。また名古屋大腿骨頸部骨折連携パス拡大合同会議、八事地区の救急を考える八事整形外科救急医療連携検討委員会なども行っています。

これらをさらに発展させ、名古屋地区の整形外科(運動器)関連の地域医療や医療連携の支援を行い、また新たに図書作製、スタッフ向け医療研修、医療情報提供、医療ボランティア、地域医療記録電子化などを行うため、特定非営利活動法人を設立し運営しています。今後積極的な活動を行っていく上で以下に挙げる課題が挙げられます。

1. 研修会及び意見交換会の企画運営
2. 地域医療連携に対する関連施設での医療者教育への対応
3. ホームページの開設と管理の必要性または会誌等の発行
4. 市民公開講座、医療者向け講演の講師および講演依頼への対応
5. さらなる地域連携パスの開発への対応(運動器疾患の治療と予防)
6. 各種データベース管理(施設・参加者・対象患者など)
7. 医療情報の共有および IT 化とセキュリティについて
8. 会員の学会発表や臨床研究への対応
9. 会員の福利厚生および活動支援
10. 文献や教材ツールの開発
11. 医療ボランティア
12. メディカルツアー対応支援
13. 国際医療交流支援
14. 企業との連携
15. 厚生労働省や地方自治体との連携及び交渉としての窓口
16. 活動資金

行政やひとつの医療施設や企業でできない医療従事者への地域での支援を行いたいと考えました。それが地域医療連携、さらに社会貢献とつながります。そのためには任意団体でなく公的な団体であり、資金面でも透明性の高い運営管理が必要です。以上のことから、今後広く活動して行くには法人格は必須の条件であると考えました。

【NPO 設立目的】

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センターは、整形外科運動器領域における地域医療連携を推進する団体です。この法人は、医療従事者・企業・自治体職員などとともに、それぞれの役割を発揮しながら地域で連携し、人が安心して医療保健サービスを受けることができるようにするためのシステム作りと、そのための医療従事者人材育成、調査研究や政策提言および発表報告、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることのできる社会の実現に寄与することを目的とします。

【事業の内容】

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 医療従事者向け研究会、教育や学術活動事業
- ② 市民公開講座など社会貢献事業
- ③ 整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業
- ④ ①～③の活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動事業

(2) その他の事業

- ① 書籍や小冊子の編集および出版事業
- ② スタッフウェア-の販売

【寄付金の使途】

- ・ 法人運営のための活動
- ・ 研究会や講習会などの医療者や介護者への教育事業
- ・ 市民公開講座などの公益事業
- ・ 研究活動に関する助成や支援
- ・ 医療ボランティア
- ・ 災害医療研修活動
- ・ 医療安全研修活動
- ・ 国際協力の活動
- ・ 出版事業

【寄付金】

単年度のご寄付のみでも結構です

賛助会員年会費 個人：一口 3000 円 団体：一口 10000 円

正会員、準会員をご希望の方は、下記副事務局までお問い合わせください。

【寄付金の振込先】

三菱東京UFJ 普通 八事支店266 口座番号0088627

トクエイエリカトウホウジンコヤセイケガチイリョウケンケイエンセンターリジチョウサトウコウジ

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター理事長佐藤公治

【副事務局】

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄 3-20-28 ライフ&シニアハウス千種 4 階

株式会社ゼニタ 担当者 銭田良博

電話 052-238-3380 FAX 052-238-3381

メール norh-office@umin.ac.jp

皆様にこの特定非営利活動法人の設立趣旨をご理解いただき、社会貢献活動の一環としてぜひともご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 11 月 吉日

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター理事長

佐藤公治



「NPO 法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター」

会員・寄付申込書

活動趣旨に賛同し、「特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター」の会員として申し込みたいと思います。寄付のみも可能です。

- 正会員：入会金 5000 円 年会費 5000 円：理事・監事も含む
- 準会員：入会金 5000 円 年会費 5000 円：医療従事者・介護従事者
- 賛助会員：(個人) 入会金 なし 年会費 3000 円+ご寄付
(団体) 入会金 なし 年会費 10000 円+ご寄付
- NPO 法人の活動趣旨に賛同し、法人に対して寄付を行う。

金額： _____ 円

申し込み日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 振り込み日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
ふりがな

お名前・企業名： _____

ご連絡先： 〒 _____

電話番号： _____ FAX 番号： _____

E-mail アドレス： _____

◆ 個人情報の公表につきまして、以下の質問にお答えください。

基本的に個人情報を公表しても良い。 はい ・ いいえ

ホームページに載せて良い。 はい ・ いいえ

◆ 請求書が必要な場合は申込書が届き次第発行させていただきます。

請求書の発行： 要 ・ 不要

※尚、領収書につきましては上記へお送りさせていただきます。

◆ 申込書の返送先、お問い合わせは下記担当者あてにお願いいたします。振込口座は下記

振込口座：三菱東京 UFJ 銀行 八事支店 (普) 266-0088627

口座名義：とくでいひえいりかつどうほうじん なごやせいりいげ かちいきいきようれんけいしん 特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センターりじちようきようこうじ 理事長佐藤公治

お問合せ・申込返送先 (副事務局：株式会社ゼニタ)

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄 3-20-28 ライフ&シニアハウス千種 4 階

TEL052-238-3380 FAX：052-238-3381

E-mail アドレス：norh-office@umin.ac.jp

平成25年度事業報告書

特定非営利活動法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センター

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センターは、医療従事者・企業・自治体職員などとともに、それぞれの役割を発揮しながら地域で連携し、人が安心して医療保健サービスを受けることができるようにするためのシステム作りと、そのための医療従事者人材育成、調査研究や政策提言および発表、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることのできる社会の実現に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。

具体的には、本法人の定款第5条第1項①医療従事者向け研究会、教育や学術活動事業、②市民公開講座など社会貢献事業、③整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業、④①～③の活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動事業を実施した。また、定款第5条第1項のその他の事業として①書籍や小冊子の編集および出版事業を行ったが、その収益はなく特定非営利活動事業に充当できなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

①医療従事者向け研究会、教育や学術活動事業

ア 医療者国際交流事業

(ア) 事業内容

名古屋第二赤十字病院整形外科と国際医療救援部を中心とした医療者の国際交流による研修のための講演会や勉強会および会議支援を行った。

(イ) 開催日時及び講師等

・運動器医療従事者教育

2013.9.26 熱田リハビリテーション病院スタッフ向けセミナー

2014.6.27 骨折治療学会発表者支援

・災害医療教育

2014.2.25 集団災害学会参加第二日赤災害対策委員支援

・医療安全教育

2013.7.7 海上医療研修支援

2013.7.10 医療安全スタッフ会議

2013.8.13 医療安全PS会議

2013.9.24 医療安全DNRシンポジウム

2014.3.12 八事日赤医療安全講習会

・国際医療救援教育

2014.2.14 国際医療救援会議

・転倒予防事業は介護保険施設向けセミナーの実施。

ベネッセスタイルケア 2013.12～2014.1 寺本・銭田・田宮・甲村
2014.3 4回 鳥山

・日本脊椎・脊髄神経手術手技学会（JPSTSS）への支援に向けて274万円の寄付金を頂き、今年度の学会支援に全額支出が予定されている。

②市民公開講座など社会貢献事業

ア 市民公開講座

(ア) 事業内容

市民向けの健康教室、市民公開講座を開催した。ボランティアで講演してもらい、薬剤メーカーと共催で開催した。市民の参加費は無料。

(イ) 開催日時

2014.1.18 八事ほねをまもる会
転倒予防事業一般向け ロコモパンフレット作製 2000部印刷
2014.5.27 八事ロコモ健康教室支援
2014.6.28 陽明寺本クリニック主催ロコモ市民公開講座支援

③整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業

(ア) 事業内容

八事地区の医師中心に勉強会、講演会、症例検討会、意見交換会を薬剤メーカーと共催し開催した。

(イ) 日時

2013.10.16 日赤学会参加
2014.4.3 東海骨関節疾患研究会
各地域連携会
八事整形会
第55回2013.9.19
第56回2012.12.11
第57回2013.3.13
第58回2013.6.26
八事整形会分科会
2014.4.9
八事整形医療連携会
第34回2013.12.4
世話人会 2014.4.23
第35回2014.6.19
八事スポーツメディスン研究会
2013.12.12
2014.7.17

(2) その他の事業に係る事業

なし

特定非営利活動法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センター
平成 26 年度事業計画書

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センターは、医療従事者・企業・自治体職員などとともに、それぞれの役割を發揮しながら地域で連携し、人が安心して医療保健サービスを受けることができるようにするためのシステム作りと、そのための医療従事者人材育成、調査研究や政策提言および発表、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることのできる社会の実現に寄与することを目的として、下記の事業を実施する。

具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、①医療従事者向け研究会・教育や学術活動事業、②市民公開講座など社会貢献事業、③整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動、④①～③の活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動事業を実施し、定款 5 条第 2 項の事業として、書籍や小冊子の編集および出版事業を実施する。これらの事業を実施することで、正会員および準会員数を増やし、平成 30 年までに認定 NPO の認可を取得することを目標とする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 医療従事者向け研究会、教育事業や学術活動事業

(ア) 事業内容

医師及びコメディカルが整形外科領域の観点から、地域医療を実践する上での地域および技術を研鑽するための研修会、または医療および介護施設で従事するスタッフに対して転倒予防教室を開催する。また国際医療、医療安全や災害医療教育のための会議を行う。

(イ) 実施予定日時

平成 26 年 7 月から平成 27 年 6 月まで（年 4 回）

(ウ) 実施予定場所

名古屋第二赤十字病院、トライデントスポーツ医療看護専門学校 他

(エ) 従事者の予定人数

講師 5 名

受付・開催準備要員（正会員 各回 5 名）

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

正会員および準会員 各回 100 名（延べ 400 名）

(カ) 収入見込み額

400（千円）

(キ) 支出見込み額

1000（千円）

イ 市民公開講座など社会貢献事業

(ア) 事業内容

名古屋市民を対象に、整形外科及び地域医療に関して公開講座を開催する。

(イ) 実施予定日時

平成 27 年 1 月（年 5 回）

(ウ) 実施予定場所

名古屋第二赤十字病院、院外の公民館など公共施設やホテルの会議室、または医療および介護施設

(エ) 従事者の予定人数

講師 5 名

受付・開催準備要員（正会員 各回 5 名）

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

一般市民 100 名 医療従事者 50 名（25 名×2 回）

- (カ) 収入見込み額
300 (千円)
- (キ) 支出見込み額
2000(千円)

ウ 整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業

- (ア) 事業内容
会員が学会発表を行うのに際し、助成を行う。運動器関連学会主催や参加の支援。
- (イ) 実施予定日時
平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日
- (ウ) 実施予定場所
事務局
- (エ) 従事者の予定人数
理事および監事 14 名
- (オ) 受益対象者の範囲及び予定人数
正会員及び準会員 20 名、学会員 400 名規模
- (カ) 収入見込み額、寄付集め
2000 (千円)
- (キ) 支出見込み額
3000 (千円)

エ ア～ウの活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動

- (ア) 事業内容
八事整形会、八事整形医療連携会、医療ボランティアなどの活動に対する支援を行う。
- (イ) 実施予定日時
平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日 (年 4 回)
- (ウ) 実施予定場所
名古屋第二赤十字病院 八事サーウインストンホテル 他
- (エ) 従事者の予定人数
理事 3 名
- (オ) 受益対象者の範囲及び予定人数
正会員 3 名 準会員 50 名
- (カ) 収入見込み額
100 (千円)
- (キ) 支出見込み額
1000(千円)

(2) その他事業

ア 書籍や小冊子の編集および出版事業

- (ア) 事業内容
整形外科や地域医療に関する書籍等を、会員や一般市民を対象に有料で販売する。そのための準備を行う。
- (イ) 実施予定日時
平成 26 年 9 月より随時
- (ウ) 実施予定場所
本法人事務所
- (エ) 従事者の予定人数

理事および監事 14 名
(才) 収入見込み額 (雑収入含む)
600 (千円)
(カ) 支出見込み額
600 (千円)

活動計算書

2013年 7月 1日 ～ 2014年 6月 30日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	100,000		
準会員受取会費	30,000		
賛助会員受取会費	53,000	183,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	4,303,075		
資産受贈益	0		
施設等受入評価益	0	4,303,075	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
受取国庫補助金	0	0	
4. 事業収益			
転倒予防教室事業収益	556,175		パンフレット195部含む
B事業収益	0		
C自治体受託事業収益	0	556,175	
5. その他収益			
受取利息	640		
雑収益	0	640	
経常収益計			5,042,890
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
印刷製本費	283,657		
講師料	148,243		
旅費交通費	28,440		
通信運搬費	12,800		
諸会費	20,000		6/28市民公開講座支援
会議費	1,286,420		
事務用品費			
消耗品費			
賃借料	63,000		
地代家賃	0		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払寄付金	0		
その他経費計	1,842,560		
事業費計		1,842,560	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	4,200		
会議費	129,100		総会・理事会
印刷製本費			
事務用品費	19,400		名刺代
消耗品費			
顧問料	85,860		三品会計事務所
減価償却費	0		
雑費	6,300		研修費等
第20回脊髄・脊髄手技学会関連経費	1,430,403		
その他経費計	1,675,263		
管理費計		1,675,263	
経常費用計			3,517,823
当期正味財産増減額			1,525,067
前期繰越正味財産額			3,945,810
次期繰越正味財産額			5,470,877

*今年度はその他事業を実施していません

平成26年度活動計画書(平成26年7月1日から平成27年6月30日)

NPO法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター

【収入の部】

項	平成26年度
1. 入会金・会費収入	258,000
正会員入会金収入	50,000
正会員年会費収入	120,000
準会員入会金収入	10,000
準会員年会費収入	25,000
賛助会員収入	53,000
2. 寄付金収入	2,000,000
寄付金収入	2,000,000
3. 事業収入	800,000
	800,000
4. その他事業収入	600,000
出版事業収入	600,000
5. 雑収入	600
預金利息	600
当期収入合計(A)	3,658,600
前期繰越収支差額	5,470,877
収入合計(B)	9,129,477

【支出の部】

項	平成26年度
1. 事業費	7,250,000
ア 医療従事者向け研究会、教育事業や学術活動事業	2,000,000
医療従事者向け転倒予防教室マニュアル&DVD作成	1,000,000
運動器関連医療者教育	150,000
名古屋日赤ワンツーカンファ	100,000
災害医療医療者教育	100,000
国際救援医療者教育	100,000
転倒予防スタッフ向けセミナー	550,000
イ 市民公開講座など社会貢献事業	500,000
八事ロコモ健康教室	300,000
八事ほねを守る会	100,000
転倒予防・骨粗鬆症を地域で予防	100,000
ウ 整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業	3,000,000
日赤学会、日本病院学会、日本脊椎・脊髄手術手技学会etc.	3,000,000
エ ア～ウの活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動	1,750,000
八事整形会	500,000
八事整形医療連携会	1,000,000
八事社会保険研究会	50,000
八事整形スポーツメディスン研究会	50,000
八事整形リウマチ研究会	50,000
八事整形外科救急医療連携検討委員会	50,000
八事整形会文科会	50,000
2. 管理費	1,080,000
広報(NPOチラシ、ホームページ)	360,000
事務人件費	0
地代家賃	0
福利厚生費	0
会議費(総会・理事会)	300,000
消耗品費	100,000
事務用品費	200,000
税理士顧問料	120,000
3. 特定預金支出	0
	0
4. 法人税、住民税および事業税	500,000
	500,000
5. 予備費	299,477
予備費	299,477
当期支出合計(C)	9,129,477
当期収支差額(A)-(C)	△ 5,470,877
次期繰越収支差額(B)-(C)	0